

No.79

# 青少年育成だより

令和5年  
7月発行

発行：鹿児島地域青少年育成推進協議会（鹿児島地域振興局総務企画課内）  
〒892-8520 鹿児島市小川町3番56号  
TEL：099-805-7206 FAX：099-805-7400

## 夏の「<sup>ふるさと</sup>故郷に学び・育む青少年運動」

令和5年7月1日～8月31日

### 《趣 旨》

夏休み期間を中心に、青少年の自立の精神と豊かな感性のかん養、国際的感覚やふるさとを愛する心の醸成を目的とした「郷土に学び・育む青少年運動」を家庭・学校・職場・地域及び関係機関・団体等が一体となって積極的に展開することにより、鹿児島の古くからの伝統である地域で青少年を育てる気風を盛り上げ、郷土に根ざしたグローバルな人材を育成する。

### 《運動の進め方》

青少年育成は家庭が基本であるという認識のもとに、鹿児島の教育的伝統と風土を生かしながら、学校、職場、地域、関係機関・団体等は、それぞれの実情に応じた取組を、独自に、または相互に連携して実施する。

特に、この期間は、児童生徒の夏休み期間を含み、生活のリズムの乱れ等により非行や不登校につながることも懸念されることから、より関係機関・団体と連携を図り、基本的な生活習慣の育成や非行防止、事故（水難・交通）防止及び令和5年度「青少年の非行・被害防止全国強調月間」に関する取組についても重点的に推進する。

なお、取組に当たっては、新型コロナウイルス感染症対策を行い、まん延防止に努めながら活動を行うこととする。

校区青少年  
育成組織等

青少年育成推進員を中心に、学校、PTA、警察、青少年団体、自治公民館、高齢者団体、地域女性団体、NPO団体、ボランティア団体等と緊密な連携を図り、本運動の周知を図るとともに、地域一体となった青少年育成活動を推進する。

家庭

「早寝早起き朝ごはん」国民運動の実践など基本的な生活習慣の育成に努めるとともに、「家庭の日」（毎月第3日曜日）、「育児の日」（毎月19日）を中心に、家庭での語り合いや、親子のふれあいを実践する。

学校

学校を中心に、家庭・地域、関係機関・団体等と連携し、ペアレントコントロール等によるインターネット利用に係る子どもの犯罪被害等の防止への取組や地域活動への参加を推進するとともに、生徒指導・安全教育の充実に努める。

職場

「ワークライフバランス」を推奨し、勤労青少年に働く喜びを与える職場づくりに努めるとともに、「家庭の日」、「育児の日」の子どもへの関わりや「青少年育成の日」（毎月第3土曜日）等に行われる青少年育成活動への参加を奨励・支援する。

地域

「青少年育成の日」を中心に、かごしま地域塾や子ども会活動など地域の特色を生かした青少年育成活動を支援・実施する。

関係機関  
・団体等

行政と民間団体等が緊密に連携し、地域ぐるみで青少年を育む気運を盛り上げ、活発な青少年育成活動が展開されるよう運動の推進を図る。

## 令和5年度 鹿児島地域青少年育成推進協議会総会・青少年環境づくり懇談会

日時：令和5年6月29日(木)

場所：鹿児島地域振興局5階大会議室

総会において、令和4年度の事業実績報告と令和5年度の事業計画が全会一致で承認されました。

環境づくり懇談会では、県警察少年サポートセンターから少年犯罪の発生状況の報告の後、各団体からの取組状況の報告がありました。

課題として多かったのが、SNS等を主としたネットトラブルをどのように防いでいくか、事件・事故を未然に防ぐための子どもたちへの声掛けはどうあればよいかということなどでした。

新型コロナウイルス感染症の流行で途絶えた子どもたちの姿が徐々に戻りつつある今、少年犯罪や事件・事故の増加が懸念されます。愛のある声掛けを通して、青少年の適切な環境づくりに努めていければと考えます。



## 令和5年度青少年育成県民会議表彰

6月8日(木)に鹿児島県青少年会館で令和5年度青少年育成県民会議総会が開催されました。総会の中で表彰が行われ、団体の部(青少年団体・グループ)で、いちき串木野市の「市来若者隊」が表彰されました。表彰理由は下記のとおりです。

若者が地域活性化に寄与する目的で発足した平成12年以来地域行事の主催者として積極的に関わりながら、会員相互の親睦を図るとともに、団体の目的のひとつである青少年の健全育成に取り組んでいる。

「海の日クリーンアップ作戦」での海岸清掃活動や主催事業のビーチバレーボール大会、小・中学生を対象にしたビーチフラッグ大会、隊員がサンタクロースに扮して子どもたちにクリスマスプレゼントを手渡すクリスマス会などを開催している。また、小学校4年～高校生15名程度で観音ヶ池での2泊3日の宿泊体験活動を羽島青年学級と共催で実施し、子どもたちとの親睦を深めている。

長年にわたる活動を通じて、青少年育成の意識の高揚や地域の子どもの健全育成に尽力している。



## 「家庭の日」の作品を募集します。

絵画・標語  
ポスター(5年生以上)

締め切り  
9月7日(木)

1 応募資格 各市村立小・中学校・義務教育学校の児童・生徒  
その他の小・中学校 特別支援学校の児童・生徒

2 応募内容

### 【絵画の部】

- ・ 家事を手伝っている様子
- ・ 明るい家庭づくりの様子
- ・ 一家団らんの様子 など

### 【ポスターの部】(5年生以上)

- ・ 文字を入れる
- ・ 「楽しいうちの家庭」
- ・ 「家庭の日」など

### 【標語の部】

- ・ 明るく楽しい様子を表現したもの
- ・ 親子の協力やふれあいを表現したもの

画用紙 「八つ切り」(271×392<sup>3</sup>)  
画材 クレヨン、水彩、パステル等自由

3 提出先 市村立小・中学校 義務教育学校は、市村教育委員会  
その他の小・中学校並びに特別支援学校は、青少年県民会議(県青少年会館内)

## 「家庭の日」・「青少年育成の日」について

本県では、昭和40年5月に毎月第3日曜日を「家庭の日」、昭和57年5月に第3土曜日を「青少年育成の日」と制定し、学校と青少年、地域社会と青少年が相互の関係の中で、青少年健全育成のあり方や意義を考えるとともに、青少年育成県民運動の趣旨に沿った諸活動や非行防止活動、社会環境浄化活動を積極的に実施しています。第3土曜・日曜の前には、地域内で広報活動も行っています。

令和5年度

# 春の「郷土に学び・育む青少年運動」



さようなら，いつまでも島を忘れないで！

【三島村】



プレゼント贈呈  
(子ども会育成会)



紙テープでお別れ  
(地区学校推進委員会)

【十島村】



記念品を渡します  
(諏訪之瀬島子ども会送別会)

ようこそ我が島へ！

【十島村・中之島小・中学校】



御岳太鼓演奏  
(転入職員の出迎え式)



【三島村】



歓迎セレモニーでのウエルカムジャンベ  
(地区学校推進委員会)

【いちき串木野市】

先輩！ありがとう！

ジュニア・リーダークラブ  
「チェリーブLOSSAM」  
送別研修会



今年度、ジュニア・リーダーを卒業する高校3年生は1人でしたが、後輩への気配り・思いやりに溢れ、声掛け、励ましてくれる姿は、皆の模範となっていました。  
11人の後輩が研修に参加し、これまでの功績に感謝しながら、送別の活動を楽しみました。

## 青少年育成コーディネーターの紹介

青少年育成コーディネーターとは、市町村における青少年育成の推進役として、市町村民会議への企画・運営面での参画をはじめ、青少年の現状把握や青少年育成関係機関・団体、青少年育成推進員への指導・助言等を行う有志指導者です。

- |           |                      |       |       |
|-----------|----------------------|-------|-------|
| 《鹿児島市》    | 増田 淑子, 富田 一義         | 《日置市》 | 下園 昌三 |
| 《いちき串木野市》 | 松下 良照                | 《十島村》 | 北原 利郎 |
| 《三島村》     | 原之園 健児, 長濱 義人, 松山 隆志 |       |       |

# 青少年育成活動の紹介

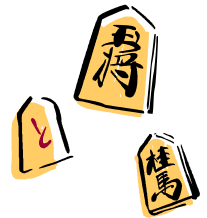
## 鹿児島市喜入公民館前期講座 「目指せ棋士！将棋塾」

本講座は、小・中学生の初心者を対象に、将棋の基本ルールを学び、実践を通して将棋に親しむことを学習内容とし、令和元年度から開設しています。

今年度は、5月20日～6月24日までの約1カ月間、毎週土曜日（第二土曜日を除く）の午前10時から12時まで、計5回開催し、小学1年生から4年生までの男女計7名が受講しました。中には、昨年度に引き続き受講している子もいますが、多くは家族との対局経験が何度かある程度の初心者です。

講座では、まず、駒の種類・並べ方・動かし方・特徴などの基本ルールや礼儀作法・マナー等を学び、次回から順に序盤（玉を囲う）の指し方、中盤（手筋を知る）の戦い方、終盤（玉の寄せ方・詰将棋）の指し方を学んで、最終的に受講生同士の対局を楽しむといった学習計画となっています。

毎回、講師の鮎川哲朗先生が、大型の将棋盤と駒を使って、とても分かりやすく教えてくださっています。また、受講生が実際に駒を動かしている様子を見ながら、一人一人の棋力に応じた適切かつ具体的な指導により、子どもたちは、回を重ねるごとに本講座での学びが着実に棋力の向上につながっていることを実感し、講座が終わる頃には、将棋がより一層好きになっています。



## いちき串木野市

### 「黎明祭」

羽島史跡顕彰会

鹿児島中央駅前に立つ「若き薩摩の群像」。その19名の「薩摩スチューデント」を顕彰する『黎明祭』を、彼らが旅立った、いちき串木野市羽島の「薩摩藩英国留学生記念館」の海辺で4月16日に開催しました。

羽島小学校、中学校の子どもたちはそれぞれの留学生になりきり、留学生たちが果たした功績を発表してくれました。小学生は、かねて使い慣れない鹿児島弁で、中学生は英語でのスピーチを披露してくれました。中学生の英語での発表は、いちき串木野市が掲げる「英語の町」推進事業に沿ったものであり、子どもたちの国際性を育む一助にもなるものと考えます。

また、小学生の鹿児島弁での発表では、参列されたご来賓と問答をかわして、そのユーモアに会場が大いに沸きました。地方の文化ともいえる方言、失われつつある方言（羽島弁）を駆使してイベントを盛り上げた思い出は、地域に対する思いを育んでいってくれるものと思います。

そして、子どもたちは郷土の歴史を学ぶ形で「黎明祭」に参加した事で、日本の近代化のために命を懸けて密航留学し、帰国後、様々な分野で活躍した先人たちの思いを体感し、使命感や、責任感、また、進取の思いを学んでくれたことと思います。

